

# 「人が集い、元気なまち」を目指して

令和2年度

一般会計当初予算

96億5,800万円

今年度の当初予算は、前年度に比べて、9千6百万円(1.0%)減の96億5千8百万円となっています。

今月号では、「人が集い、元気なまち」を目指す施策として5つの柱を中心に予算を紹介します。先月号の令和2年度施政方針と一緒にご覧いただければ、よりご理解いただけると思います。

## I. 健康・福祉のまち

- ◆小豆島中央病院の運営支援  
267,516千円
- ◆認知症への理解を図るための認知症カフェの開設  
132千円
- ◆子育て世代包括支援センターの設置  
4,115千円
- ◆障害者計画、介護保険事業計画等の策定  
2,332千円
- ◆放課後等デイサービス事業の開設  
6,100千円
- ◆特別支援学校の開校に向けた周辺環境の整備  
17,000千円

## II. 定住・交流のまち

- ◆土砂災害と津波のハザードマップを更新  
4,959千円
- ◆一般廃棄物最終処分場の整備  
831,411千円
- ◆空き家改修補助の対象拡充  
10,000千円
- ◆地域おこし協力隊の活用  
16,553千円
- ◆旧内海庁舎跡に駐輪場を整備  
1,980千円
- ◆老朽化した坂手港浮棧橋の改修  
36,500千円

## III. 産業のまち

- ◆有害鳥獣による公共施設の被害の復旧支援  
2,500千円
- ◆竹生漁港の防波堤の整備  
150,500千円
- ◆小豆島ブランドの確立の推進  
13,000千円
- ◆スーパーマーケットトレードショー出展による地場産業のPR  
2,768千円
- ◆オリーブナビ小豆島にデジタルサイネージを設置  
7,500千円
- ◆日本遺産認定「備讃諸島の石の文化」の情報発信や普及啓発  
12,400千円

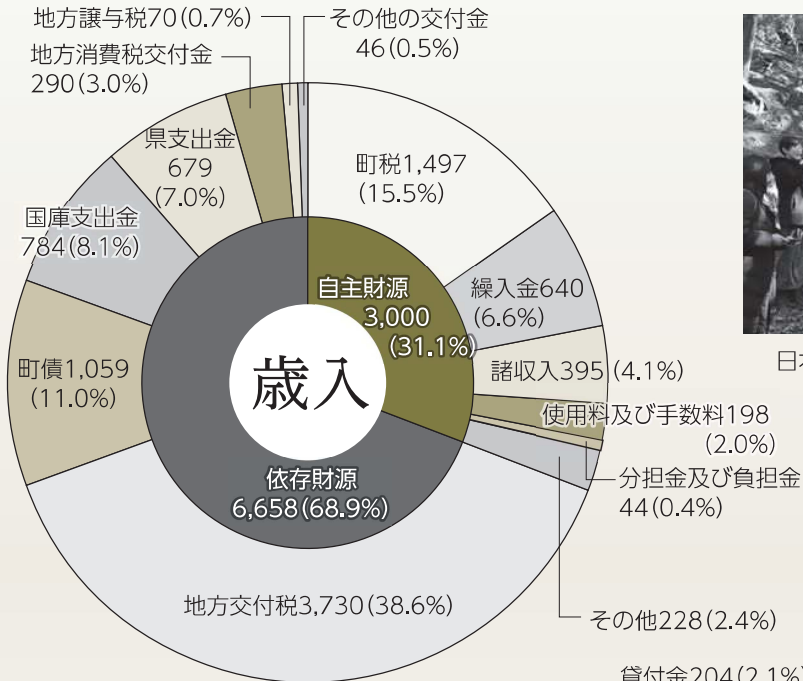
## IV. 教育・文化のまち

- ◆老朽化した星城小学校のトイレ改修  
8,100千円
- ◆プログラミング教育用ICT機器の整備  
665千円
- ◆人権同和教育等を推進する生徒指導主事の配置  
2,696千円
- ◆内海地区3幼稚園で長期休業中の給食提供の開始  
2,053千円
- ◆農村環境改善センターの天井の耐震化  
57,750千円
- ◆トップアスリート等との交流による子どもの夢を育む機会の創出  
2,000千円

## V. 行財政改革の推進

- ◆課の統廃合など役場組織の再編 2,000千円
- ◆旧サイクリングターミナル、吉田斎場、福田教育集会所の解体撤去 91,758千円
- ◆職員研修など人財育成の強化 1,100千円

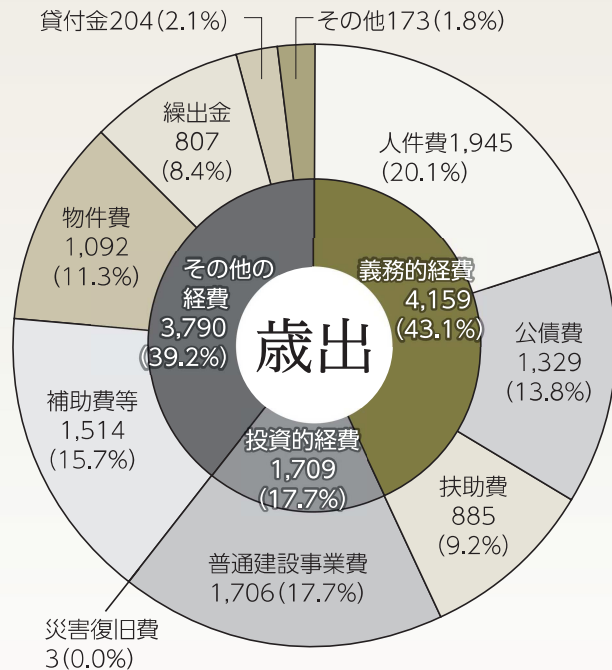
### 一般会計 歳入歳出予算グラフ



日本遺産ガイドを養成するための研修会



プロスポーツトレーナーによるトレーニング講習



(単位は百万円、百万円未満は四捨五入)  
※端数処理の関係上、数値が合わない場合があります。

私たち一人あたりに使われる金額 **70万4,141円**のうち町が賄える金額 **21万8,723円**  
※R2. 4. 1 現在の人口 13,716人および自主財源により算出しています。

問い合わせ先 企画財政課 ☎82-7000